

Scoop

2001年5月

M35ステージア

日産

本格FRスポーツワゴン

M35ステージアの真相を暴く！！！！

V35スカイラインの全貌がほぼ明らかになったいま、一番気になるモデルといえは次期ステージアだ。現行モデル同様、スカイラインのパフォーマンスを受け継ぐスポーツワゴンとして登場するステージア。スクープ班はついに、その真相に迫ることに成功した！

ついに真の姿をキャッチした。これが、9月にデビューを予定しているという、型式名「M35」次期ステージアの確定スタイルだ。

次期ステージアがどうなるのか。これまでも、さまざまな情報をスクープ班はキャッチしてきたが、なかなか最終的なスタイリングには結びつかなかった。

そして、その後入手した情報により、ようやく判明した確定スタイリングは、やはり、どことなく現行ステージアの面影を残しているように見える。しかし、スカイラインと同じ新世代LクラスFRプラットフォームによるフロントミッドシップ・パッケージングを採用する次期ステージアは、現行モデルとはかなり異なるプロポーションになるのだ。



[↑ zoom](#)

ワイドフェンダー + 18インチホイールの “ スーパースポーツ・ユーティリティ ”

その名はグレード名「AR-X」

フロントのディテールに現行モデルの面影を残す次期ステージア。確定スタイリングでは、樹脂製ワイドフェンダーと18インチホイールを採用する「AR-X」を再現した。

ホイールベースは、現行モデルより明らかに長い。フロント、リアのオーバーハングが極端に短く、全高は高めのボディはボリューム感たっぷりだ。だが、

リアに向かって切れ上がる、全体に高めのウエストラインとすることで、シャープな雰囲気仕上げられている。

この迫力ボディに、さらに黒い樹脂製オーバーフェンダーを装着したワイドバージョンの存在も判明した。「A R - X」と称するこのグレードは、クロスオーバー的イメージもあるものの、足元を引き締めるのはなんと18インチの大径ホイール。オンロードでのパフォーマンスを意識してのワイド化なのだろうか。

フロントまわりはMC後の現行モデルとちょっと似た感じのデザインだが、このランプユニットにはヘッドランプのほかスモール&ターンシグナルが一体で収められる。ヘッドランプにはもちろんキセノンランプも採用され、その場合は上下2分割リフレクターを用いるようだ。

リアビューでは、既報のとおりDピラーからリアゲートまで伸びる“L字型リアコンビ”が最大の特徴。このリアゲートは樹脂パネルが多用される一方、ガラスハッチも採用され、利便性も大幅に向上するという。

エンジンは2.5リットルV6が中心
ターボもラインナップ



[↑ zoom](#)

リアコンビはやっぱり「L字型」だった!!



[↑ zoom](#)

エンジンは2.5リットルターボを搭載することを確認した。当然、280psは発揮されるはず。スカイラインよりもさらにパフォーマンス重視のラインナップとなるようだ。

リアコンビランプが「L字型」である証拠がこれだ。ひと目でステージアであることを印象づける、個性的なリアビューだ。ゲートのボディ色パネル部は樹脂製となる。

気になる搭載エンジンは、2・5リットルV6のNAとターボのラインナップを確認。スカイラインにはない2・5リットルターボを主力とすることで、ステージアがスポーツ性を重視したモデルであることがうかがえる。

スクープ班では、さらに調査を続行中。次期ステージアの続報にご期待いただきたい。

ステージアのスクープを振り返る

99年7月で
コンセプトをス
クーブ！



[↑ zoom](#)



[↑ zoom](#)

スクーブスシャ
ル
00年秋号でリア
ビューをスクー
プした！



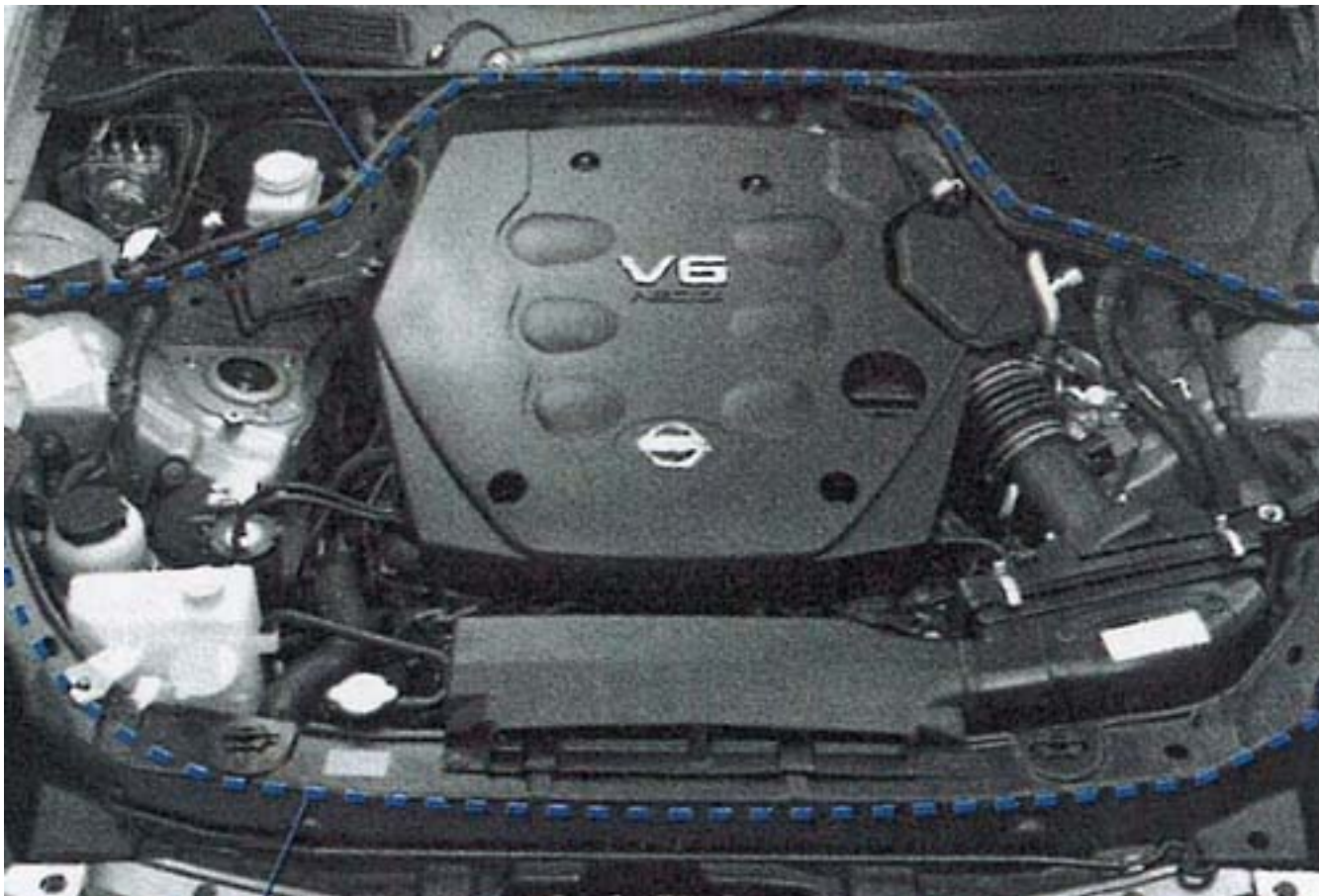
[↑ zoom](#)



[↑ zoom](#)

▲ [戻る](#)









トヨタエンブレム

MAG
マガジンX特別編集

21世紀
大予想号 *Scoop Special*

ドキドキ! 袋とじスクープ付き

500円

2001年
スクープの旅

未来日記 を超えた新車スクープ!
マジでこのまま出るクルマばかり!!

スクープ
スペシャル

チェイサーあらため
トヨタ・ペロツサ

ランエボⅥ
日産ステージア
確定ステップワゴン
ザ・研究所

“合法的”スクープ指南
自動車カタログ「間違い探し」

スクープ情報募集中! スクープ ゴクヒ
0120-492-592
●通話料無料! 携帯電話・PHSからもご利用いただけます

三栄書房



